日刊建設工業新聞（2026 年 9 月 7 日付 3 面掲載）

【オリコンサルグローバル　ベトナム初となる民間開発空港の設計業務を受注】

ベトナム初の民間開発空港設計受注

オリコンサルグローバル

オリエンタルコンサルタンツグローバルは、ベトナムバクニン省に新設されるザービン国際空港の設計業務を受注した。同国で初めて民間企業が計画する空港で、年間３０００万人の旅客と１６０万㌧の貨物を扱う能力を整備する。同社は設計ＪＶの代表として、滑走路や電力設備などの設計を担う。これまでアジア各国の空港整備に携わった実績を生かし、政府開発援助（ＯＤＡ）事業以外の同様の大型空港案件にも参入していく。

越マスタライズ・アビエーション・インフラストラクチャー・ジョイント・ストック・カンパニーから、受注した。同国のトランスポート・エンジニアリング・デザイン（ＴＥＤＩ）、シーピージー・ベトナム（ＣＰＧ）とＪＶを組む。契約額は非公表。履行期間は７月～２０２７年１月。30年の開港を目指す。

同空港の誘導路などの航空保安施設、給排水、電力などの基幹インフラを、複数の施設や工種を横断してＢＩＭも活用し設計する。